



小さな木

レー ティ イエン
LE THI YEN

私の真中に小さな木があります。この木は人に見えない不思議な木です。この木の種は4年前日本に来た時に社長にもらいました。

4年前の私は18才で、何でも簡単に考えていました。仕事をするのが嫌いで、お金のことを大切に考えていませんでした。責任とはどんなことか分からず、困ることがあったらすぐ泣きました。その時は、そんな自分があたり前だと思っていました。

日本に来たばかりの時は「ここでうまく生活出来るかな」と不安でした。その時、社長が私達実習生を地域の祭に連れて行ってくれました。そこで地域の人たちと一緒に歌ったり、話したりしてとても楽しかったです。何回も参加して日本人と交流して、いつのまにか不安だった気持ちが安心に変わりました。社長がくれた種は「安心の芽」になりました。

日本に来て半年ぐらいたって、作文コンクールに参加しました。私は作文を書くために、一生懸命日本語を勉強しました。最初は日本語に自信がなかったけど、今は日本語が大好きになって、日本人とたくさん話せるようになりました。上司が言ったこともよく分かるようになりました。今、毎日仕事を楽しいです。私は「安心の芽」に毎日すこしずつ水をやって「努力の芽」に育てました。

私が働いている会社では、毎年旅行があっ

て、実習生も連れて行ってもらえます。そのおかげで私は日本のいろんな所に行くことが出来ました。その土地の文化や歴史、食べ物や景色を見ることが出来ました。旅行に行くたびに、私の知識がどんどん広がりました。地域が広がったおかげで、世界は自分のことだけじゃなくて、もっと広く見ないといけないと思いました。ですから、自分のことだけじゃなくて、周りの人のことも考えるようになりました。仕事では自分の後の工程に迷惑をかけないように仕事をするようになりました。「努力の芽」は「責任の芽」にすこしずつ成長しました。社長からもらった種は、日本で楽しく暮らすために必要なものでした。最初はよく分からなかったですが、仕事も生活も一生懸命努力して水をやりました。上司や同僚は私を熱心に、親切に指導してくれて、大きく育つように光をくれました。

日本に来て、4年目の私の気持ちの真中に小さな木が育ちました。小さいですが風がふいてもぜったい倒れない強い木です。この小さな木は安心、努力、責任で出来た幹に将来の楽しみとか、夢とか、自信の花が咲いています。今はまだ小さいですが、将来、この木がもっと成長するように、一つ一つの経験を大切にして、これからも大きく、強く育てていきたいです。